

大阪は「医療崩壊」。府民の命まもれ



清水たかし衆院議員は5月10日、衆院予算委員会で政府の新型コロナウイルス感染対策について質問に立ちました。

清水氏は、大阪では重症病床使用率が100%を超え、自宅やホテルでの療養者が1万6千人に上ると指摘。「全感染者のうち9割が入院できず、救急車を呼んでも搬送先の病院が見つからない事態。医療崩壊と呼ばれている」と告発。コロナ禍で医療崩壊の危機に直面する大阪府の事態を示し、政府が国民の命と健康を守るために手だてを取りきるよう要求しました。

五輪でなく、大阪に医師・看護師の派遣を

大阪の深刻な重症病床不足について清水氏は、医師・看護師の人材不足が原因にある

と主張。「大阪だけでは医療資源が枯渇している状況だ」と述べ、全国から医師・看護師を派遣するよう求めました。あわせて、重症患者の県境を越えた広域搬送の調整が必要だと迫りました。菅首相は「全力を尽くして支援している」と答えるだけでした。

在宅患者の命を守るために懸命にがんばっている医師を支援するよう、訪問診療にかかる診療報酬の引き上げを求めた清水氏は、「救えるはずの命が救われない状況のなか、どのようにして国民の命を守るか、その答えは現場にある」と述べ、菅首相が関

係者から直接要望を聞きとるよう求めました。（大阪4区民報より）



「素晴らしい。やはり共産党は羅針盤だ」元自民党議員秘書

清水質問 大反響

◆自民党国会議員の元秘書と名乗る男性 素晴らしい質問だ。目が覚めるようだった。もう医師会とべったりの自民党ではだめだ。医療確保のために奮闘してほしい。国会に共産党がいてよかった。やはり、共産党は羅針盤だ。

◆「めちゃくちゃ素晴らしかった」 めちゃくちゃ素晴らしかったです！現場の状況を具体的に話し、よかったです!!大阪府民を救ってください。菅総理は現場に来てください!!!

◆「ただただ凄い」 ただただ凄い。鳥肌が止まらなかった。清水さんが一人ひとりの命をまっすぐ見つめている、救いたいというのが画面越しにしっかり伝わるからだと思う。この心意気を全政治家が持っていたら全く違っていただろうな。素敵でした。有難うございます。是非総理には現場に足を運んでいただきたい。

◆「議員からも拍手」 議員たちからも拍手が起こった質疑。おっしゃる通りと試みていました。

◆「なんと貴重な議席か」 大阪の医療崩壊の実態をリアルに示し、総理に対し迫力ある質問。身近な声を反映して迫る質問の数々。清水議員の熱い訴えに、思わず頑張れ!!と声が出た。そして涙が出てきた。日本共産党の議席が、なんと貴重な議席なのか。私も頑張らねばならない。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 26(2021.5.12)